

小売業と製造業における
サプライチェーンと
ロジスティクスを極める
ための自動化の推進



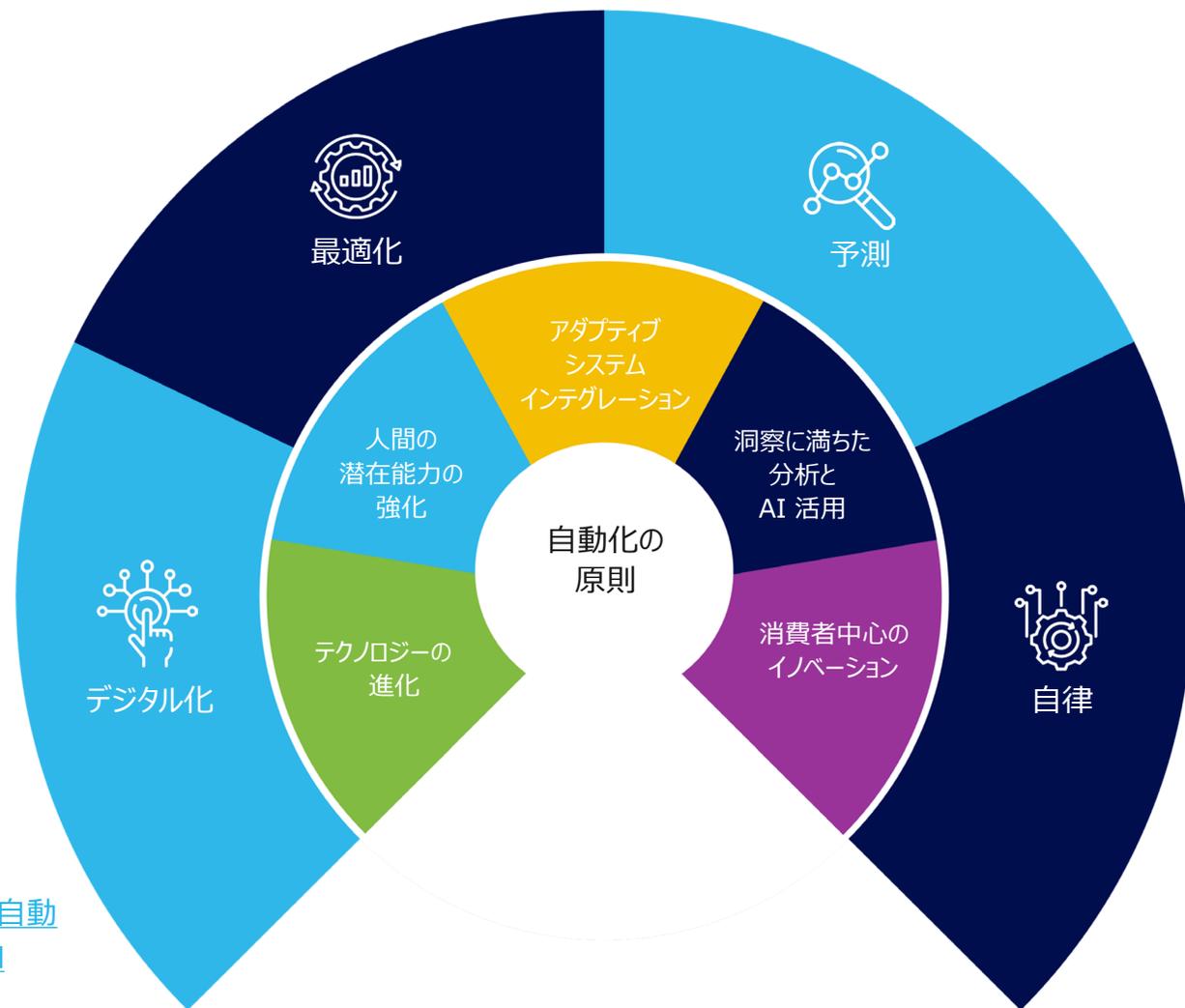
統合サプライチェーンにおける 自動化範囲の拡大

サプライチェーンの自動化の包括的な理解は、現在の産業における最重要課題です。自動化の導入と実際の応用のための効果的な戦略を策定するには、ロボティクスの領域をはるかに超えた多面的な概念として自動化を捉えることが非常に重要です。

- **ロボティクスの枠を超えて**：自動化はロボティクスを超え、複数のテクノロジーを融合してスマートで独立した意思決定が可能になっています。こうした変化は、機械とアルゴリズムが連携してプロセスを合理化するサプライチェーン管理の新時代の到来を告げるものです。
- **データ主導のインテリジェンス**：真の自動化の本質は、膨大な企業データストリームに根ざしたインテリジェンスにあります。相互運用可能なソリューションやエッジテクノロジーなどのイノベーションによって支えられるこのインテリジェンスは、企業における情報の解釈と情報に基づく行動のあり方に革命をもたらします。
- **卓越した成果を重視**：自動化の最終目標は、より良いビジネス成果を実現することです。自動化は、ソフトウェア、ハードウェア、ハイブリッドシステムの組み合わせを通じて、企業がよりスマートな意思決定を行うことを可能にすることで、効率と成長を促進します。

このトピックの詳細については、業種別概要「[将来への道標：現代のサプライチェーンで多面的自動化が果たす不可欠な役割\(Navigating the Future: The Essential Role of Multi-Faceted Automation in Modern Supply Chains \)](#)」を参照してください。

自動化成熟度フレームワーク



自動化成熟度フレームワーク

この自動化成熟度フレームワークは、自動化を多面的な追求として見直すことの重要性を強調しながら、自動化のさまざまな段階のロードマップを示したものです。



デジタル化

従来のプロセスを合理化デジタルプロセスに変換し、単なるデータ変換にとどまらず、データ入力や記録管理などの作業を強化



最適化

最も効率的な業務オプションと結果を特定して実施するソフトウェアを導入し、インテリジェントシステムを活用して物流管理を強化



予測

履歴データとほぼリアルタイムのデータを使用して将来のニーズとシナリオを予測し、事前対策的な意思決定と戦略計画を実現



自律

自動テクノロジーの実装（担当者とロボットの作業のスケジューリングや配送業者の選定を行う意思決定ソフトウェアなど）

小売/製造サプライチェーンとロジスティクスにおける自動化の重要なニーズ

自動化は、単に小売業や製造業の先進的な概念であるだけでなく、現代のサプライチェーンやロジスティクス業務に不可欠であり、効率性、持続可能性、市場競争力の向上につながります。これらの業界にとって、自動化の統合はオペレーションの柔軟性と顧客満足度を高める上で不可欠であり、市場のイノベーションにつながります。

- **自動化による競争優位性**：小売/製造ロジスティクスでは、自動化は効率化や戦略的意思決定の実現に不可欠であり、プロセスを迅速化し、オペレーションコストを削減し、競争優位性につながる貴重な洞察をもたらします。
- **シームレスなサプライチェーンインテグレーション**：製造および小売サプライチェーン全体にわたる自動化の統合は、一貫したオペレーションと市場の変化に対応する能力の確保につながり、顧客満足度がすばやく大幅に向上します。
- **自動化によるイノベーションとサステナビリティ**：自動化は、これらの業界のイノベーションと環境サステナビリティを測る基準となっています。自動化により、従業員は戦略的成長、イノベーション、サステナビリティに集中することができ、業界に新たな進歩の時代が訪れます。



サプライチェーンとロジスティクスの多面的自動化による小売業と製造業の発展

小売/製造ロジスティクスにおける変革力としての自動化

小売/製造サプライチェーンでは、自動化は輸配送や倉庫の強化を超えて処理業務を再構築します。こうしたシフトには、製造プロセス、データ管理、ワークフロー効率を最適化するための高度なテクノロジーの統合が必要です。中核業務プロセスの変革に重点が置かれ、これらの業界の生産面と管理面にわたって効率性、精度、生産性の向上につながっています。

高度なロジスティクスによる小売業と製造業の変革

小売/製造ロジスティクスに革命が訪れた世界を想像してみてください。小売業の場合、自動在庫システムの導入により、顧客体験が大幅に向上し、サプライチェーンの意思決定や顧客とのやり取りに圧倒的な俊敏性がもたらされます。逆に、製造業は技術的に進んだ倉庫と洗練された流通方法による効率化の新時代を迎えます。マテリアルハンドリングから製品流通までのロジスティクスプロセスの包括的な最適化により、効率性、レジリエンス、持続可能性が向上し、結果として事業運営状況が再生されます。

自動化による小売業および製造業の成長の未来

小売/製造ロジスティクス業務における自動化の流れは、統合された総合的な技術進歩の効果の証しです。その目的は、大きなイノベーションと持続可能な成長を特徴とする未来に向かって両セクターを前進させる、統一された戦略的アプローチを構築することです。



統合サプライチェーン全体にわたる多面的で相互運用可能な自動化への道筋の模索





概要：注文管理

注文管理の合理化による シームレスな顧客フルフィルメント

注文管理は、注文の開始からフルフィルメント、配送まで、注文のあらゆる段階を合理化し、注文の精度、タイムリーな処理、および顧客満足度を確保します。倉庫管理などのシステムを統合すれば、リアルタイムの在庫管理、効率的なリソース割り当て、顧客までの商品の流れの円滑化が可能になります。

自動化のビジネス価値：



精度と利便性の向上



顧客体験の合理化



サービスコストの削減





注文管理の成熟段階別ユースケース

デジタル化

手作業と紙ベースの業務を合理化されたデジタルプロセスに転換して、注文処理の効率向上とリアルタイムの在庫追跡を実現します。

- **相互運用性**：オープン API と追加設定不要のアダプタにより、主要な機能を既存のテクノロジースタックに接続することで、エンドツーエンドのサプライチェーン可視性を実現します。
- **電子注文処理**：デジタルソリューションによって注文の入力と処理を合理化し、精度と効率を向上させます。
- **リアルタイム在庫管理**：複数のチャンネルと場所にわたって在庫レベルを追跡することで、正確なオーダーフルフィルメントを実現すると同時に在庫を削減します。

最適化

デジタルシステムの改善によって効率を最大化し、サプライチェーンの連携を確保し、インテリジェントなルート選択を利用したオーダーフルフィルメントを実現します。

- **サプライチェーンの同期**：製造オペレーションと小売オペレーションを調整し、需要と供給を同期させて在庫レベルを最適化し、在庫保管コストを削減します。
- **スマートな注文ルーティング**：近接性、在庫状況、顧客の嗜好に基づいて、最適なオーダーフルフィルメントロケーションを自動的に決定します。

予測

データ分析と機械学習を利用して将来の需要と在庫要件を予測し、生産と在庫レベルの先を見越した調整を実現します。

- **顧客需要予測**：販売履歴データとトレンド分析を利用して顧客の需要を予測し、製造戦略と在庫戦略を正確に調整します。
- **スマートな補充**：販売スピードとリードタイムを使用して在庫補充ニーズを予測し、過剰在庫や在庫不足のシナリオを防止します。

自律

人工知能 (AI) と IoT テクノロジーの導入により、人間の介入の必要性を最小限に抑えながら、個別注文管理を促進して顧客サービスを強化します。

- **AI によって強化された顧客サービス**：人工知能 (AI) を使用して注文の更新や返品処理などのパーソナライズされた顧客サービスを提供し、全体的な顧客体験を向上させます。
- **インテリジェントなバランス再調整**：機械学習 (ML) を活用したエンジンにより、顧客の優先順位や先入れ先出しなど、動的に設定可能なビジネスルールに基づいて、未処理の需要を再シーケンスできます。混乱にマイクロ秒単位で対応します。





概要：倉庫管理

倉庫内の在庫管理と 流通効率の向上

倉庫管理は、在庫の管理、倉庫の最適化、オーダーフルフィルメントと返品
の調整、商品在庫の確保、流通の効率化、廃棄物削減を実現します。

自動化のビジネス価値：



在庫の精度



効率的なスループット



オーダーフルフィルメントスピード





倉庫管理の成熟段階別ユースケース

デジタル化

電子追跡を利用した在庫管理と返品品の監視により、在庫レベル、注文処理、返品処理の精度を高めます。

- **高度な在庫管理**：製品ライフサイクルから在庫引き当て、鮮度に至るまで、在庫に関する複雑な課題を合理化し、管理だけでなく実行にも業務を集中できるようにします。
- **労務管理の効率化**：スケジューリングとリアルタイムの活動追跡を自動化し、スタッフが付加価値の高い活動や戦略的な監視に従事できるようにします。

 **正確な在庫追跡**：RFID とカメラを統合して正確な在庫レベルを維持します。これはタイムリーなオーダー fulfillment に不可欠です。

最適化

倉庫レイアウトを改善し、ピッキングプロセスを自動化します。これは、迅速なオーダー fulfillment と返品商品の効率的な処理の両方に不可欠であり、ミスの削減につながります。

- **ワークフローの自動化**：包括的な作業管理の自動化を推進し、倉庫業務の効率を最大化します。
-  **テクノロジーの相乗効果**：ロボティクスを活用してロジスティクスを改善し、シームレスなオペレーションと継続的改善を実現します。

予測

販売データと返品傾向を利用して在庫と返品数を予測し、最適な在庫レベルを確保するとともに、売上と返品の両面で需要変動に備えます。

- **応答性に優れたロジスティクス**：ロジスティクスの差異を事前に調整し、業務の継続性を維持しながら市場の需要に対応します。
- **リアルタイムの輸送可視化**：輸送管理の統合により、配送の到着予定時刻 (ETA) とステータスのリアルタイムの変化に基づくプロアクティブな在庫調整が可能になります。

自律

保管/回収作業用と返品処理用のロボットシステムを統合し、出荷/入荷ロジスティクスを効率的に管理する完全自動倉庫環境に徐々に移行します。

- **モビリティソリューション**：モビリティソリューションを利用して、アイテムのピッキングや仕分け、商品の積み下ろしといった従来の手作業主体の倉庫作業を自動化します。
-  **ロボットプロセスの進歩**：最新のロボティクスを利用して労働集約的な作業を置き換え、オペレーション能力を向上させます。





概要：倉庫運用管理システム

リアルタイム実行制御による 倉庫の同期の強化

倉庫運用管理システムは、機械学習を利用して効率的な在庫管理、プロセスの最適化、およびフルフィルメントスピードの向上を実現しながら、ロボティクスと人間のタスクを同期させることで、倉庫業務を合理化します。

自動化のビジネス価値：



オペレーション効率の向上



フルフィルメントのスピードと精度の向上



拡張性と適応性の向上





倉庫運用管理システムの成熟段階別ユースケース

デジタル化

現在の在庫と注文に基づいてタスクの割り当てを自動化し、倉庫ワークフローを合理化します。

最適化

自動タスクと手動タスクのバランスを取りながら、リソースの効率的な活用を実現すると同時に遅延を最小限に抑えます。

予測

リアルタイムの販売データと在庫データを使用してワークフローを調整しながら、需要パターンの変化に対応します。

自律

高度な人工知能（AI）を導入して倉庫業務を自律的に管理および最適化し、オペレーションの変化に瞬時に対応します。

- **ワークフローの精度**：倉庫運用管理は、人間の作業員とロボット間のタスク配分を改善して、小売/製造環境における精度と速度を確保します。

 **エキスパートロボティクス**：エリートロボティクス企業とのコラボレーションは、フルフィルメントおよびロジスティクス業務におけるタスクの効率化とイノベーションにつながります。

- **リソース効率**：倉庫運用管理はタスクを最適化し、優先順位を付け、要員とロボットの管理を交互に配置します。これは、ジャストインタイム生産とオンデマンド小売在庫に不可欠です。
- **オンボーディングの最適化**：さまざまなベンダーのロボットへのオンボーディングを迅速化し、すばやい立ち上げと季節調整を可能にします。

- **需要主導の要員計画**：倉庫運用管理の予測分析は、消費者の需要サイクルと生産ピークに合わせて必要な人員配置の情報を提供します。
- **戦略的予測**：リソース計画と作業計画に対する洞察を提供します。これは、在庫フローを維持し、市場の需要を満たすために不可欠です。

- **シームレスなロボット導入**：ロボティクスの迅速な導入を支援します。これは、小売の季節的な需要増や生産量の急増への対応に不可欠です。
- **統合タスク管理**：要員とロボティクスを同期させて、リソース間の複雑な倉庫作業を自動化します。





概要：労務/要員管理

スマートな労務/要員管理による 従業員の効率の最大化

労務/要員管理は、従業員のスケジューリングと要員割り当てを最適化し、従業員の定着率と業務パフォーマンスを向上させるとともに、従業員の効率の確保とリソースの過剰利用の削減によって持続可能性を支えます。

自動化のビジネス価値：



作業効率と柔軟性



コスト管理



従業員の満足度と定着率





労務/要員管理の成熟段階別ユースケース

デジタル化

デジタルスケジューリングと要員追跡を実装して、要員の計画と効率を向上させます。

- **スケジュールへのシームレスなアクセス：**スケジュールや個人の嗜好へのデジタルアクセスによって従業員のモビリティを強化し、小売店や製造現場の従業員が情報の取得や管理上の意思決定を指先ひとつで行えるようにします。

最適化

生産スケジュールや小売需要に照らして必要な要員を分析し、最適な人員配置を確保します。

- **従業員の希望のスケジュール：**従業員がスケジュールリングの希望を示すことができるようにすることで要員のカスタマイズを可能にし、よりパーソナライズされたシフト計画によって士気を高め、離職率を下げます。

予測

生産サイクルや販売予測に基づいて将来必要な要員を予測し、プロアクティブな要員管理を実現します。

- **プロアクティブな要員計画：**高度な予測によって必要な要員を予測し、予測分析に沿って業務ニーズの変化への対応や労働力の割り当てを強化します。

自律

AI を統合して要員計画を自動化し、手動のスケジューリングと監視の必要性を減らします。

- **AI 主導のリソース配分：**AI 主導の要員配分の導入により、リソースのギャップをインテリジェントに解消し、従業員のパフォーマンス基準を設定して水準を維持し、広範な管理監督なしで業務効率を最適化します。





概要：マイクロフルフィルメント

倉庫と店舗のフルフィルメントの最適化による俊敏で持続可能な配送の実現

マイクロフルフィルメントは、倉庫業務、店舗および直送フルフィルメントの自動化を実現し、リアルタイムの意思決定とワークフローの最適化を促進します。また、シームレスなラストワンマイル配送、カーブサイドピックアップ、BOPIS（オンラインで購入し、店舗で受け取り）をサポートし、マイクロサービスアーキテクチャを通じたサービスのカスタマイズにより、消費者の需要の変化に対応します。

自動化のビジネス価値：



動的な在庫管理



俊敏なフルフィルメントとクロスドック戦略



廃棄物削減と持続可能なオペレーション





マイクロフルフィルメントの成熟段階別ユースケース

デジタル化

オペレーションのデジタル化によって倉庫と店舗のフルフィルメントを強化し、包括的なリアルタイム追跡と、注文と在庫の効率的な管理を可能にします。

- **モバイルオペレーションへのシームレスな移行**：手動ワークフローからモバイル対応プロセスへのスムーズな移行を実現し、オペレーションの俊敏性を高めます。
- **特殊なワークフロー**：拡張 API スイートを使用したカスタムワークフローの作成が可能になり、価値の展開と提供を加速します。
- **オムニチャネルフルフィルメントの合理化と可視化**：デジタル化により、効率的なピッキング方法や店舗のマイクロフルフィルメント活動の明確な可視化と相まって、BOPIS やカーブサイドピックアップなどの柔軟なオムニチャネルオプションが実現します。

最適化

リアルタイムの販売データと在庫データに合わせてフルフィルメント戦略を改善します。その結果、応答性に優れた合理的な注文処理が実現します。これは、効率的なマイクロフルフィルメント業務に不可欠です。

- **動的な倉庫戦略**：継続的な販売データに基づく倉庫戦略の動的な適応により、最適な在庫レベルと効率的な注文処理が実現します。

予測

高度なアナリティクスの導入により、消費者の行動や市場動向の変化を予測し、フルフィルメント計画のプロアクティブな調整が可能になります。これにより、倉庫業務と店舗フルフィルメントの両方のニーズが予測されます。

- **市場トレンド分析**：予測分析の導入により市場トレンドを予測し、在庫戦略やフルフィルメント戦略をプロアクティブに調整します。

自律

AI を活用して在庫管理と注文処理の主な側面を自動化し、リアルタイムの市場力学に合わせてオペレーションを調整することで、シームレスなラストワンマイル配送と消費者の需要への柔軟な対応が実現します。

- **高度なクロスドッキング**：荷受人、便宜的、計画などのさまざまなシナリオが容易になり、出荷までの商品の処理を迅速化する能力が高まります。
- **入荷/出荷処理**：入荷の自動処理とプロアクティブな注文管理により、製品の迅速なターンアラウンドが実現し、流通プロセスの合理化につながります。





概要：輸配送の管理と最適化

デジタルイノベーションによる輸送効率と持続可能性の向上

小売業/製造業における輸配送の管理と最適化は、輸送費/運賃の最適化、タイムリーな配送の確保、ルート最適化を通じた持続可能性の向上、返品やリバースロジスティクスの効率的な処理を実現します。

自動化のビジネス価値：



顧客サービス



コストおよびCash-to-Serve効率



配送の信頼性



サステナビリティ





輸配送の管理と最適化の成熟段階別ユースケース

デジタル化

プロセスの改善とワークフローの自動化に重点を置きながら、輸送ライフサイクルを合理化し、複数のモードと地域にわたる効率的な管理を可能にします。

- **文書管理のデジタル化**：紙の文書をデジタルに変換することで、効率的な注文処理とコンプライアンス管理が実現します。
- **データリポジトリの一元化**：Blue Yonder プラットフォーム内で Snowflake などのデータレイクを使用してロジスティクスデータを統合し、戦略的意思決定と分析を改善します。
- **入札管理システム**：高度なソフトウェアを統合して入札プロセスを自動化し、荷物の受け入れと実行を促進します。



• **リアルタイム可視化システム**：リアルタイムの出荷追跡のために IoT/エッジテクノロジーを導入します。これは、正確な在庫と計画に不可欠です。

最適化

出荷パターン、コスト、モード、配送業者、持続可能性、その他の要因を分析して、費用対効果、配送スピード、返品 of 効率的な処理のバランスを取りながら、ルート計画と配送業者選定を最適化します。

- **アルゴリズムに基づくルート計画**：アルゴリズムを利用してスマートルート計画、配送スケジュールの最適化、コストの削減、輸配送時間の最小化を実現します。
- **ロジスティクスにおける積載最適化の強化**：製造業者、小売業者、ロジスティクスプロバイダは、データ管理と最適化を使用して高品質で効率的な積載計画を作成することで、入札の迅速な受け入れにつながります。
- **データ主導の積載最適化**：分析を利用して効果的な積載計画を作成することで、リソース効率と持続可能なオペレーションが促進されます。

予測

データ分析とほぼリアルタイムの追跡の導入により、輸送ニーズを予測し、季節的需要、サプライチェーンの混乱、返品数量の変動に応じて戦略を適応させます。

- **予測追跡とアラート**：IoT/エッジデバイスの組み込みにより、輸送中の商品のほぼリアルタイムのモニタリングが実現し、遅延や混乱の可能性を未然に防ぐプロアクティブな対策が可能になります。

自律

小売業/製造業における動的な輸送管理に AI を活用することで、リアルタイムのルート調整、配送業者選定、モード最適化が可能になります。

- **自動配送業者選定**：配送業者の自律的な選定に AI アルゴリズムを導入することで、配送ニーズを配送業者の能力やコスト効率に合わせて調整できます。
- **API 主導の輸配送管理の相互作用**：API を使用して輸配送管理を ERP、注文管理、および倉庫管理システムと統合し、エンドツーエンドのロジスティクスワークフローを自動化します。





概要：ヤードマネジメント

高度な管理とテクノロジーによる ヤードオペレーションの合理化

ヤードマネジメントは、施設ヤード内でのロジスティクスのオーケストレーション、車両の動きの管理、ゲート作業の自動化と一元化、ドックスケジューリングの最適化により、オペレーション効率を向上させます。

自動化のビジネス価値：



車両ハンドリングの合理化



在庫管理の強化



ターンアラウンドタイムの短縮





ヤードマネジメントの成熟段階別ユースケース

デジタル化

ヤード内の車両の電子スケジューリング、ゲートチェック、および監視を導入し、積み込みと荷下ろしの効率を向上させます。

- **視覚ベースのゲートチェック**：物体認識と機械学習によるコンピュータビジョンを導入し、ヤードのゲートで車両にタグを付けて監視することで、正確で高速なスループットを実現します。
- **デジタル資産識別**：車両をデジタルで監視します。これは手数料や荷物の紛失の削減に不可欠です。
- **動的なヤードマップ**：車両の位置やステータスに応じて最新のヤードマップを維持し、ロジスティクスの迅速なターンアラウンドを実現します。

最適化

ドックの割り当てやトレーラーの移動などのヤード作業を自動化して業務フローを強化し、滞留時間を短縮します。

- **対象を絞ったドックスケジューリング**：ドックの割り当てを最適化します。これは完成品や原材料の迅速な移動に不可欠です。

予測

分析の導入により、不必要な手数料や不満を予測して回避します。

- **引き留めや滞留の予測**：分析を使用して車両のステータス、事前の信号検出、および滞留時間を監視してサプライチェーンの遅延を最小限に抑えると同時に、不必要な手数料や不満を削減します。

自律

自動運転車技術を統合してヤードオペレーションを自己管理し、手作業を削減します。

- **自己完結型のゲートチェック**：ML を活用したカメラベースのゲートチェックの導入により車両を自律的にチェックインし、重要な入退場プロセスを迅速化します。
- **エッジカメラによるデータキャプチャ**：エッジテクノロジーを利用してヤード入口でデータを収集します。





概要：返品およびリバースロジスティクス管理

高度なソリューションによる e コマースの 返品とリバースロジスティクスの変革

返品管理は、自動化されたインテリジェントなアプローチにより、e コマースの返品およびリバースロジスティクス管理のあり方を変革し、複雑な返品プロセスに対してコスト効率が高く、価値を最大化するソリューションを企業に提供します。

自動化のビジネス価値：



効率的な返品処理



在庫への再統合



顧客体験の向上





返品およびリバースロジスティクス管理の成熟段階別ユースケース

デジタル化

返品を開始および処理を簡素化する高度なデジタルプラットフォームを提供し、手作業を削減し、データの正確性を向上させます。

- **デジタルによる返品開始**：顧客が顧客サポートに電話をかけるのではなく、直観的なデジタルジャーニーを通じてセルフサービスで返品ポリシーを自動的に適用できるようにすることで、返品を開始を変革します。その結果、コストの削減のほか、小売業者にとっては消費者体験の向上、製造業者にとってはサプライヤーの返品の効率化につながります。

最適化

設定可能な返品インテリジェンスの導入により、事前分類済みデータに基づいて返品に関する最適な意思決定を開始から自動化し、業務効率化とより大きな価値を実現します。

- **返品ルート最適化**：返品ロジスティクスを最適化して、コスト効率の高いルート再選択と小売店の迅速な在庫補充を実現し、製造サプライチェーン内の無駄を最小限に抑えます。
- **アイテムレベルのカスタマイズ**：アイテムのSKU、カテゴリ、寸法、返品理由、場所などのデータに基づいてカスタマイズ可能なルールを使用して、アイテムごとにインテリジェントな意思決定を自動化し、最適な配送先とサービスを使用して価値の回収と効率を最大化します。

予測

分析ツールの導入により返品数量を効果的に予測し、小売業者や製造業者が返品フローとリソース割り当てを戦略的に管理できるようにします。

- **返品予測**：倉庫に到着する前に返品数量を把握し、処理に必要なリソースの正確な割り当てに加え、在庫のリアルタイム可視化によって過剰補充を回避します。

自律

セルフサービスの返品キオスクと広範なPUDO（ピックアップ/ドロップオフ）ネットワークにより、小売/製造オペレーションを簡素化するとともに、顧客体験を向上させます。

- **自律的な返品処理**：セルフサービスキオスクの導入により、小売業での手間のかからない返品と製造業での自動仕分けを実現し、スピードと顧客満足度を向上させます。



急速に変化する小売業や製造業の世界では、ロジスティクス業務への自動化の導入は競合他社の先を行くための鍵となります。この変革は、単に適応するだけにとどまらず、より効率的で顧客中心の業界へと導きます。小売/製造業界の企業は、イノベーション、適応性、顧客中心主義によって成功が決まる未来への道を切り開いています。

詳細については、Blue Yonder Web サイトをご覧ください。

<https://blueyonder.com/jp/ja/solutions/luminate-logistics>



 **BlueYonder**
Fulfill your potential™